

# 日本ナシ「新高」における高品質果安定生産のための 側枝更新法

農業研究センター 果樹研究所 落葉果樹部

担当者:大崎 伸一

### 研究のねらい

「新高」は短果枝花芽の維持が容易なことから、側枝が長い年月にわたり利用されることが多く、「幸水」と比べると側枝の更新が遅い傾向にある。

高品質果生産のためには生産性の高い優良な側枝を利用することから、着果している部分の枝齢ならびに側枝齢と果実品質の関係について解明し、整枝せん定の判断材料とする。

### 研究の成果

- 1 側枝齢と果実品質との関係では、3～5年生側枝に着果した果実が大きく、糖度も高い。それより若い側枝や古い側枝では品質が劣る。
- 2 着果枝齢と果実品質との関係でも、3～5年生短果枝に着果した果実が大きく、糖度も高く、1年生枝(長果枝)～2年生短果枝と6年生以上の短果枝に着果した果実は品質が劣る傾向にある。
- 3 以上のことにより、3～5年生の側枝に着果した果実が品質が良いことから、側枝の更新は2～3年生の若い側枝の段階で更新したり、6年生以上の古い側枝を多用することは得策ではなく、2～5年生までの側枝をそれぞれ1/4程度ずつ均等に利用し、6年生に達した側枝を更新する。また、毎年、予備枝として1年枝を20%程育成する。

### 普及上の留意点

- 1 「新高」のせん定における側枝更新技術の目安として活用する。
- 2 「愛宕」「新興」など短果枝花芽が維持されやすい品種においても適応可能とみられる。

表1 「新高」の側枝齢と果実品質

側枝枝齢	調査果数	平均着果枝齢	平均1果重(q)	果形v程度(1-5)	果肉硬度(1b)	糖度(Brix)
1年生側枝	7	1.00	712	3.57	3.64	12.50
2年生側枝	21	1.52	725	3.57	3.44	13.80
3年生側枝	51	1.84	784	3.74	3.70	13.14
4年生側枝	60	2.85	767	3.58	3.73	13.39
5年生側枝	17	3.17	773	4.24	3.91	13.31
6年生側枝以上	11	3.73	734	4.54	3.78	12.99

注)y:果形程度は、良好：5、やや良好：4，普通：3，やや不良：2，不良；1，で評価

表2 「新高」の着果枝齢と果実品質

側枝枝齢	調査果数	平均側枝齢	平均1果重(q)	果形v程度(1-5)	果肉硬度(1b)	糖度(Brix)
1年生(長果枝)	78.5	(2.70)	713	3.34	3.41	12.99
2年生短果枝	55.5	(3.40)	735	3.58	3.72	13.02
3年生短果枝	31.0	(3.90)	765	3.63	3.87	13.17
4年生短果枝	29.5	(4.25)	797	3.46	3.75	13.04
5年生短果枝	15.5	(5.63)	774	4.03	4.33	13.15
6年生短果枝以上	15.0	( - )	747	2.93	4.02	12.92

注)y:果形程度は、良好：5、やや良好：4，普通：3，やや不良：2，不良；1，で評価

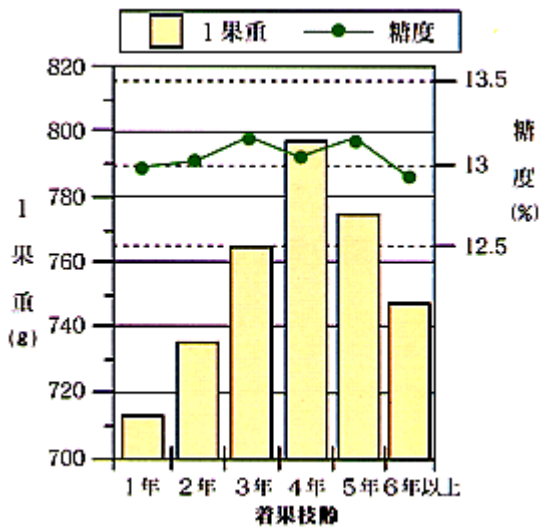


図1 側枝齢と果実重、糖度

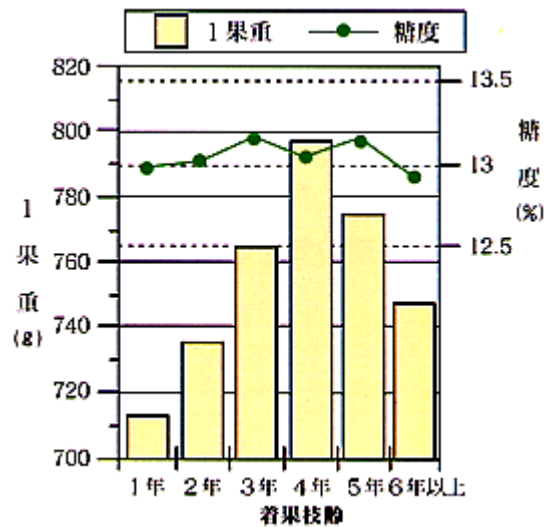


図2 着果枝齢と果実重、糖度

表3 1樹内における側枝の枝齢別配置割合の目安

側枝枝齢	1年	2年	3年	4年	5年
配置割合	20	20	20	20	20